

Publication No. JP 60-035033 U (published on 11 March 1985)

BIAXIALLY STRETCHED BOTTLE WITH BASE CUP

A biaxially stretchable bottle 1 with a base cup comprises a cylindrical body 3, and a handle 9, wherein the cylindrical body 3 is formed to be biaxially stretched in such a manner that a bottom wall 2 of the cylindrical body 3 is swollen downwardly like a spherical surface, a cylindrical base cup 8 made of paper, which is formed so as to stably erect, is fittingly installed in the cylindrical body 3 of the bottle 1, the cylindrical base cup 8 having through-holes 10, 11 formed at the upper and the lower portions of the outer peripheral wall thereof, respectively, in such a manner as to be spaced apart from each other, and wherein the handle 9 is formed in a flexible ring shape and is inserted into the through-holes 10, 11 so that it is securely fixed to the base cup 8.

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑪ 公開実用新案公報 (U)

昭60-35033

⑫ Int. Cl.

B 65 D 23/00
23/10

識別記号

府内整理番号

7312-3E
7312-3E

⑬ 公開 昭和60年(1985)3月11日

審査請求 未請求 (全1頁)

⑭ 考案の名称 ベースカップ付き二軸延伸壘

⑮ 実願 昭58-126628

⑯ 出願 昭58(1983)8月15日

⑰ 考案者 鳩田伸治 東京都江東区大島3の2の6 株式会社吉野工業所内

⑰ 考案者 野瀬和明 東京都江東区大島3の2の6 株式会社吉野工業所内

⑰ 出願人 株式会社吉野工業所 東京都江東区大島3丁目2番6号

⑲ 実用新案登録請求の範囲

底壁2が下方に球面状に膨出する二軸延伸させた合成樹脂製壘本体1の胴部3に、安定起立用の筒状の紙製ベースカップ8を嵌合装着し、該ベースカップ8には、このカップ壁体の上下部に離間させて設けた貫通孔10, 11に挿通させて柔軟な輪状の把手9を取付けてなるベースカップ付

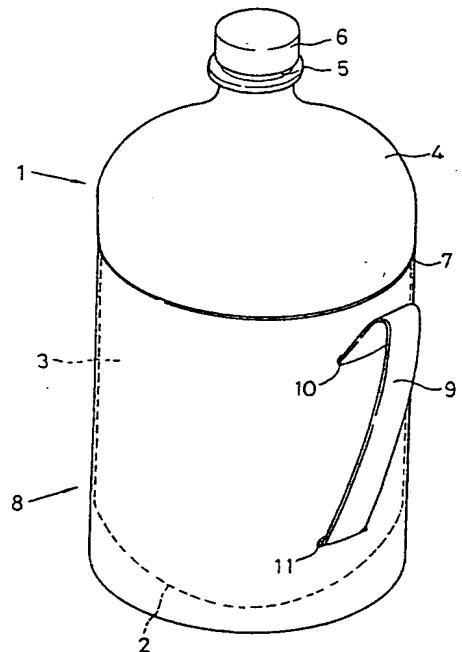
き二軸延伸壘。

図面の簡単な説明

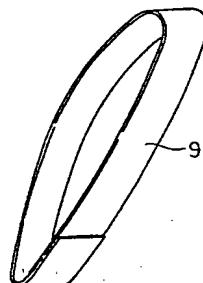
第1図は本考案ベースカップ付き二軸延伸壘の一実施例の外形斜視図、第2図は同実施例の把手の拡大斜視図である。

1……壘本体、8……ベースカップ、9……把手。

第1図



第2図



BEST AVAILABLE COPY

公開実用 昭和60— 35033

⑨日本国特許庁 (JP)

⑩実用新案出願公開

⑪公開実用新案公報 (U)

昭60-35033

Int.Cl.

B 65 D 23/00
23/10

識別記号

庁内整理番号

7312-3E
7312-3E

⑫公開 昭和60年(1985)3月11日

審査請求 未請求 (全頁)

⑬考案の名称 ベースカツプ付き二輪延伸壁

⑭実 領 昭58-126628

⑮出 領 昭58(1983)8月15日

参考案者 島田 伸治 東京都江東区大島3の2の6 株式会社吉野工業所内
参考案者 野瀬 和明 東京都江東区大島3の2の6 株式会社吉野工業所内
出願人 株式会社吉野工業所 東京都江東区大島3丁目2番6号

BEST AVAILABLE COPY

明細書

1. 考案の名称 ベースカップ付き二軸延伸壇

2. 実用新案登録請求の範囲

底壁2が下方に球面状に膨出する二軸延伸させた合成樹脂製壇本体1の頂部3に、安定起立用の壇状の紙製ベースカップ8を嵌合装着し、該ベースカップ8には、このカップ壇体の上下部に離間させて設けた貫通孔10, 11に插通させて柔軟な管状の把手9を取付けてなるベースカップ付き二軸延伸壇。

3. 考案の詳細な説明

本考案はベースカップ付き二軸延伸壇に関する。

二軸延伸壇は、肉薄化により材料が節約できると共に、壇の強度を高めることができるために近時急速に普及している。

しかし、この二軸延伸壇では、壇底が球面状に下方に膨出するので安定起立のため合成樹脂製のベースカップを装着しており、このため価格が割高となり、また窯窯焼却時、その燃焼カロリーが高いため焼却炉を損壊するおそれがある、という

(1) BEST AVAILABLE COPY

363

実開60-35033

問題がある。

本考案はベースカップとして紙製品を用い、前記問題点の解決を計ったベースカップ付き二軸延伸器を提供せんとするものである。

以下添付図面を参照して本考案実施例を説明する。図において、1は例えば飽和ポリエステル樹脂製のコールドバリソンを二軸延伸させて形成した合成樹脂製の軸本体で、底部2は球面状に下方に膨出形成されている。3、4、5は軸本体1のそれぞれ頭部、肩部、口頸部、そして6は該口頸部5に嵌合させたキャップである。この軸本体1は、頭部3の中途、例えば上部に下向き段部7を設け、この段部7下方を幾分縮径した外形としてある。

8が紙材からなる筒状のベースカップで、前記軸本体1の縮径下半部外面に嵌合装着され、その上端周縁が下向き段部7を支承し、軸本体1を安定に起立させている。9は例えば軟質の合成樹脂材からなる柔軟な把手で、第2図のように一本の帶状のものの両端を鉛止め又は接着剤による接着

等の手段で結合して輪状に形成したものであるが、その取付けは、両端を結合しない状態にて、予かじめ明けられたベースカップ 8 盤体の上下部の貫通孔 10, 11 に挿通し、この後両端を結合されればよい。この把手 9 は場合によつては布地等他の材料を用いることもできる。

前記ベースカップ 8 は、内容物を充填した壇本体 1 を支持するに充分な強度と適当な耐水性を具えていればその紙質は適宜任意でよい。一般には、数枚の紙を積層接着し、かつ耐水加工を施した複層紙で構成するのが好ましい。

上記本考案によれば、ベースカップ 8 を従来の合成樹脂材に代え紙材を用いるようにしたので、その分コストを下げることができ、また紙材の燃焼カロリーが低いことから壇全体の燃焼カロリーを低く抑えることが可能となり、施設焼却時における燃却炉の振舞防止に貢献できる。しかも、通常の合成樹脂材からなる従来のベースカップのように有毒ガスを発生しない利点がある。またベースカップ 8 には把手 9 が取付けてあるので壇の持

運びに便利であり、この把手9は柔軟材なので邪魔にならず、取扱いの上でも都合がよい。

4 図面の簡単な説明

第1図は本考案ベースカップ付き二輪延伸環の一実施例の外形斜視図、第2図は同実施例の把手の拡大斜視図である。

1 .. 壇本体

8 .. ベースカップ

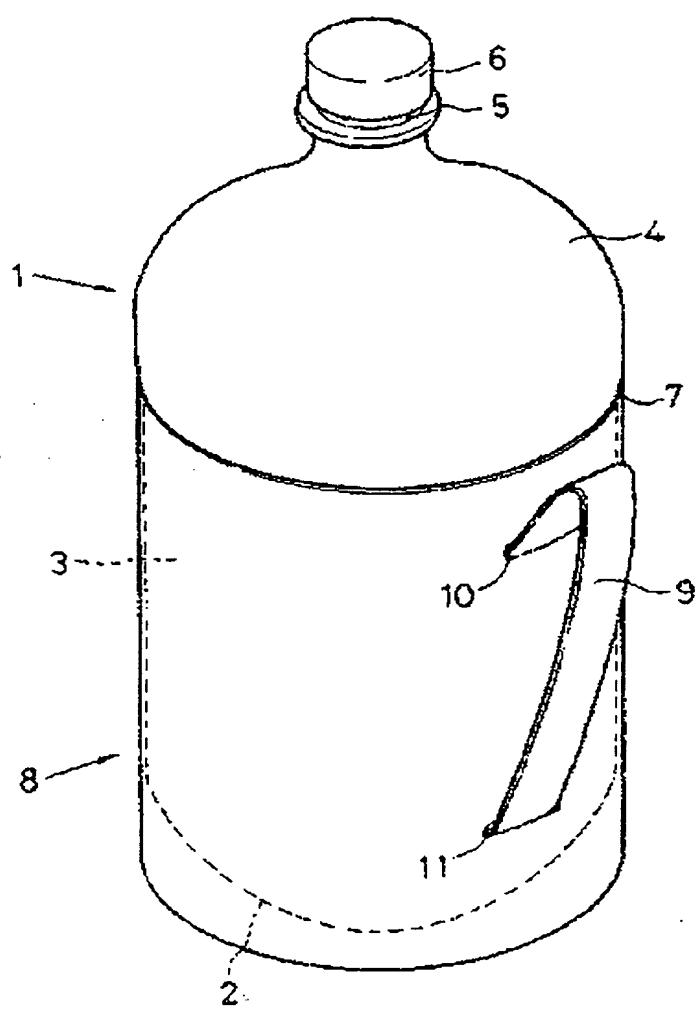
9 .. 把手

实用新案登録出願人 株式会社 吉野工業所

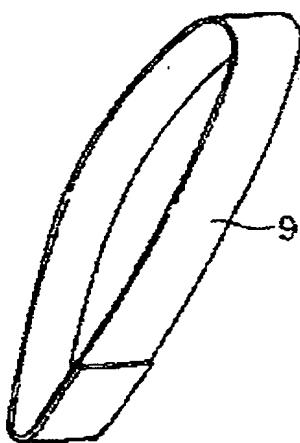
代表者 吉野 淳太郎



第1図



第2図



367

実開60-35033

出願人 株式会社吉野工業所
代表者 吉野弥太郎

BEST AVAILABLE COPY